

担当司祭 様
教会委員長様
信徒の皆様
修道院長 様

さいたま教区司牧センター 環境と貧困デスク
担当者 クレーバー ディ ソーザ

+主の平和

「穀物を収穫するときは、畑の隅まで刈りつくしてはならない。収穫後の落ち穂を拾い集めてはならない。ぶどうも、摘み尽くしてはならない。ぶどう畑の落ちた実を拾い集めてはならない。これらは貧しい者や寄留者のために残しておかねばならない。」(レビ記 19:9~)

さいたま教区環境と貧困のデスクから初めてお便りいたします。

待降節を迎え、みなさまの教会におかれましては降誕祭を迎える準備が進められていることと思います。

この多忙な季節の中にもかかわらず、私たちのデスクから「主の御降誕を迎える心の準備」について、提案を送らせていただくことになりました。

1. 2011年の司教メッセージについて

まず、今年の新年の司教メッセージの中で、司教様はこうおっしゃっていました。

「・・・少し、わたしたちの生活に余裕を持たせることはできるはずです。私自身に対する提案でもありますが、皆さんにも提案してみたいと思います。生活の中で5%削減して5%余裕を作り出すことです。それはそんなに難しいことではありません。たとえば、家事の時間を5%減らして、こどもの話を聞く。家事の時間を仮に8時間とすれば、24分間です。残業を減らして5%の時間を作り出す。週に2時間ほどの時間を作り出すことです。その時間を自分や家族のために使うことができます。5%、食事を質素にすることも、家庭の電気、水道、車のガソリンなどを減らすこともできます。できる範囲で、それぞれのアイデアで5%を目標に時間、お金、物などを削減するのです。この5%が私たちの重荷を少し軽くし、より豊かな心を持つことにつながるのではないのでしょうか。

言い方を変えれば、いままでの生活から5%、清貧に生きることです。その5%は神の似姿である人間の本来の姿に戻ることを可能にします。神と共に生きる喜びにつながるはずです。それが、孤独のうちに生活している人や、いじめによって孤立している子どもを兄弟姉妹として迎えることにつながれば、どんなに素晴らしいことでしょう。」

私たち環境と貧困デスクのメンバーはこのメッセージについてどう応えたらよいのかを考えて始めました。その直後、今年3月に東日本大震災が発生しました。

いま、先述の司教様のメッセージは、ますますその意味を深めています。

2. 一人ひとりの5%削減のアイデアを募集

私たち環境と貧困のデスクでは昨年より、さいたま教区としてシンプルライフあるいは清貧という信徒の生き方について検討をしまいましたが、今年から始まったこの日本社会の大きな流れの中で、ひとつの提案をすること

を決心いたしました。

同封いたしましたポスターにも記載いたしました。さいたま教区の皆様から、司教メッセージに応える

私たちができる5%削減のアイデアを募集いたします。

お寄せいただいたアイデアは、多くの方にご紹介してゆきたいと思えます。削減方法を思いつかなかった方がお寄せ頂いたアイデアを聞いて、自分でも実行できる方法を見つけられたら素晴らしいと考えています。この5%削減への取り組みは、私たちがキリスト者として生きる姿を見つめなおす「鏡」を手に入れることにもなるとも考えています。

5%削減のその後の道筋は、以下のように考えています。

これは5%縮んで生きよう、ということではない→ 5%の削減で5%の余裕を生むことができる



生まれた5%の余裕を何に使うのかを考える(そこにあなたと神とのつながりが関わってくる)



5%の余裕の使い道によって、御言葉がそれぞれの自分の生き方へ受肉する



シンプルライフ=清貧への道の歩みへとつづく

アイデアは、個人的なものからグループのものまで、大小の規模を問いません。

個人で、グループで話し合っ、小教区で話し合っ、ブロックで話し合っ

また、寄せられたアイデアは、できるだけ広く紹介させていただく方法を考えています。

環境と貧困デスクでホームページに掲載、取りまとめて各ブロック宛に配布

必要に応じて小教区にも配布、多くの皆様が取り組めるような手段

この季節、私たちは降誕祭を迎える準備をしています。今年、司教様から発せられた5%削減の私たちの努力が、生まれてくる主キリストへのお祝いの贈り物になればと考えています。

小教区の皆様へこの手紙のメッセージが届きますように、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

アイデアの送り先「さいたま教区 環境と貧困デスク係」

〒 330-0061

埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-12

カトリックさいたま教区司牧センター

F A X : 048-827-0058

E-mail : pace-saitama@nifty.com